

## 平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	07	104530	新渡戸記念館企画展示事業
総合計画	分野	人づくり			
	政策	3-5	芸術文化の振興		
	施策	2	先人の顕彰		
目的	新渡戸家及び新渡戸家ゆかりの先人とその業績を紹介する。				
対象	一般市民及び県内外の観光客				
意図	江戸時代以降、花巻の発展に貢献した国際人・稲造を生んだ新渡戸家を顕彰・紹介し、市民に花巻の歴史の一端に触れてもらうとともに、観光客にも本市をPRする機会とする。				
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること				
○特別展の開催	(1,052千円) ・常設展とは別に、年間を通して特別展を3回開催。 ①「紙芝居で振り返る新渡戸稲造からの贈り物」(4/20～8/31) ②「新渡戸氏と新田開発」(9/7～11/23) ③「収蔵資料展」(2/11～4/3) ・花巻市4館連携事業の共同企画展として「稲造の父・新渡戸十次郎」を開催(12/3～H29.1/29)				
○教育普及事業	(195千円 イベント関係含む) ①市内の学校以外や近隣市外の学校にもPRして来館を促すとともに、出前講座を開催。 ②市内外の公民館に働きかけ、高齢者学級や婦人学級に活用していただくようにした。 ③一般の市民を対象にした「新渡戸教室」を開催。 ④参加者を公募し、新渡戸家ゆかりの地を訪ねる移動研修を開催。				
市民参画の有無	〔対象外〕				
市民協働の形態	共催		実行委員会・協議会		事業協力・協定
	後援・協賛		補助・助成		委託
活動指標(上記「事業概要」に対応)	単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
① 行事開催数	回	計画	10	10	
		実績	10	10	
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
成果指標(上記「意図」に対応)	単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
① 入館者数	人	目標	25,000	25,000	
		実績	14,302	14,707	
② 生涯学習に利用した小中学校数/市内小中学校数	%	目標	25.0	25.0	
		実績	20.0	26.7	
③		目標			
		実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		○ 目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
○入館者数の推移 H26年度 13,113人(36人/日) H27年度 14,302人(40人/日) H28年度 14,707人(41人/日) ※ここ数年の現状をみると、1日あたりの利用者は40～50人前後であり、目標値と大きな乖離がある。そのため、1日あたりの利用者60人を目指し、目標として掲げた。 ○生涯学習に利用した小中学校数は、H28年度においても前年度と同様、8校の目標に対して8校の実績であった。	
目的妥当性	公共関与の妥当性 ○ 妥当である 見直し余地がある 妥当でない
有効性	成果の向上余地 ○ 向上余地がある 向上余地がない
効率性	事業費・人件費の削減余地 事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある ○ どちらも削減余地がない
公平性	受益と負担の適正化余地 受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある ○ 適正である
総合評価 …上記評価結果の総括	
教科書で知ることがきわめて少ない郷土史について、新渡戸家という切り口を通して江戸時代以降の花巻の先人や歴史を学ぶことができるということは、すこぶる有益であると思われる。また、新渡戸稲造という傑出した人物を生んだ土壌が花巻にあることを県内外にアピールすることは、本市の大きなPRポイントにもなる。一方、当館で実施しているアンケート調査では、展示内容及び施設環境にはかなり肯定的な意見が多いにも関わらず、知名度の点において劣っているのは否めない。このため今後、市内外に対して様々な媒体や機会を捉えてPRしていくことが必要と考える。	

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	10	05	07	104530	新渡戸記念館企画展示事業

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		1,183	1,247		64
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	1,183	1,247		64

事業期間	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-------	------	-----------------

部重点施策における目標  
芸術文化の振興を図ります。

事業開始の背景・経緯  
江戸時代以降、花巻の地域開発に大きな足跡を残し、国際人・新渡戸稲造を生んだ新渡戸一族と同家とゆかりのある先人たちを顕彰・紹介するため、平成3年10月、新渡戸家ゆかりの地に開館した。

事業概要  
○特別展の開催 (1,052千円)  
・常設展とは別に、年間を通して特別展を3回開催。  
①「紙芝居で振り返る新渡戸稲造からの贈り物」(4/20~8/31)  
②「新渡戸氏と新田開発」(9/7~11/23)  
③「収蔵資料展」(2/11~4/3)  
・花巻市4館連携事業の共同企画展として「稲造の父・新渡戸十次郎」を開催(12/3~H29.1/29)  
○教育普及事業 (195千円 イベント関係含む)  
①市内の学校以外や近隣市外の学校にもPRして来館を促すとともに、出前講座を開催。  
②市内外の公民館に働きかけ、高齢者学級や婦人学級に活用していただくようにした。  
③一般の市民を対象にした「新渡戸教室」を開催。  
④参加者を公募し、新渡戸家ゆかりの地を訪ねる移動研修を開催。

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等  
・市内はもとより、市外及び県外に対して更なる情報発信等を行うことにより、記念館の認知度を上げる必要があると考える。  
・冬期間における入館者数の確保が必要と考える。

担当部署 部名 生涯学習部 課名 新渡戸記念館 担当 菊池 喜一 内線 31-2120

(単位：千円)

【事業手法の詳細】…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

●年間事業計画

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
企画展示	特別展Ⅰ 「紙芝居で振り返る新渡戸稲造からの贈り物」			特別展Ⅱ 「新渡戸氏と新田開発」			共同企画展			特別展Ⅲ 「収蔵資料展」		
教育普及	会員(サポーター)募集											
イベント	特別公演		移動研修		開館記念行事 新渡戸教室							

◆事業の概要

- 平成28年度事業 (1,247千円)
  - ①特別展を年3回開催 (1,052千円)
  - ②イベント関係 (100千円)
    - ・春の特別公演、秋の開館記念行事
  - ③教育普及事業 (95千円)
    - ・一般を対象の新渡戸教室
    - ・出前講座、移動研修を開催

◆平成28年度の主な事業

1. ①特別展Ⅰ「紙芝居で振り返る新渡戸稲造からの贈り物」  
新渡戸稲造の生涯について紙芝居(イラスト)をパネルで分かりやすく紹介。  
②特別展Ⅱ「新渡戸氏と新田開発」  
花巻地方における新渡戸家と新田開発について、その業績を紹介。  
③特別展Ⅲ「収蔵資料展」  
新渡戸氏や市内旧家の花巻人形や地域の雛人形などを展示紹介。
2. 「新渡戸教室」の開催(教育普及事業)
  - 目的  
稲造を始めとする新渡戸家の業績を広く市民に知らしめるとともに、改めて記念館の存在を周知させるため、教室を開催。
  - 内容  
講演「新渡戸稲造博士の足跡を訪ねて」

○事業費内訳

- 8節 100千円 (イベント出演、講師謝礼)
- 11節 434千円 (チラシ、リーフレット印刷)
- 12節 86千円 (広告費、資料送付代)
- 13節 628千円 (展示パネル製作委託費)